

【活動日誌218】武蔵境駅開業135周年を記念したまち歩きツアーに協力します

本学の最寄り駅である武蔵境駅を含むJR中央線は、今年開業135周年を迎えます。それに伴い武蔵境駅も開業135周年の記念企画として、11月23日に武蔵境の歴史探検ツアーを開催する予定です。このツアーを主催されるnonowa武蔵境様よりご依頼いただき、当館もそのイベントにご協力させていただくこととなりました。

当日は武蔵野市観光ボランティアガイドの会の方と駅員の方のガイドで、観音院や杵築大社ほか、武蔵境駅周辺の見どころを2時間半ほどかけてまち歩きをする予定で、そのコースの中に本学一号棟の見学が入っています。

当日は博物館が休館のため、博物館の入っている建物である一号棟の歴史や見どころなどをご紹介させていただく予定です。

こちらのツアーへの参加のお申し込みは11月6日までとなっています。ご興味のある方は、武蔵境駅構内のポスターをご覧ください。か、有人改札の係員の方にお問い合わせください。

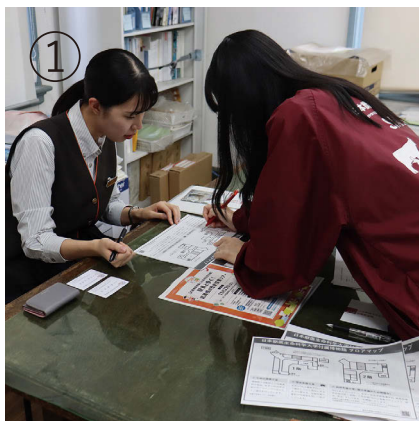
(スタッフ 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #武蔵境

■中央線 新宿～八王子間開業135周年イベントを開催します

https://www.jreast.co.jp/press/2024/hachioji/20240710_hc02.pdf

中央線 新宿～八王子間開業135周年イベント全体についてはこちらで紹介しています



- ① nonowa 武蔵境の担当の方とのミーティングの様子。当日の見学のコースを話し合いました。
- ② 一号棟の入口での説明場所の確認をしている様子。

【活動日誌219】大学祭とオープンキャンパスにあわせて博物館を開館しました

11月1日から3日にかけて、第7回医獣祭とオープンキャンパスが開催され、当館も特別開館を実施しました。

イベント期間中は当館の3つの展示室(歴史系展示室・自然系展示室・定期交換展示室)を公開するだけでなく、11月1日からは特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」を開始しました。

本展示は、本学の獣医保健看護学科病態病理学研究分野と共催で実施していることから、特別開館期間中は同研究室の先生方や院生に展示解説を依頼しました。また、特別展にご協力いただいた本学獣医学科獣医寄生虫学研究室の先生にも、展示解説をしていただきました。

特別開館2日目はあいにくの空模様となりましたが、好転に恵まれた3日目には多くの方にご来館いただき、3日間で合計880名の方が博物館を見学されました。

特別展は来年の5月31日までの開催を予定しています。特別開館の機会を見逃した方は、ぜひご予約の上ご来館ください。

(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

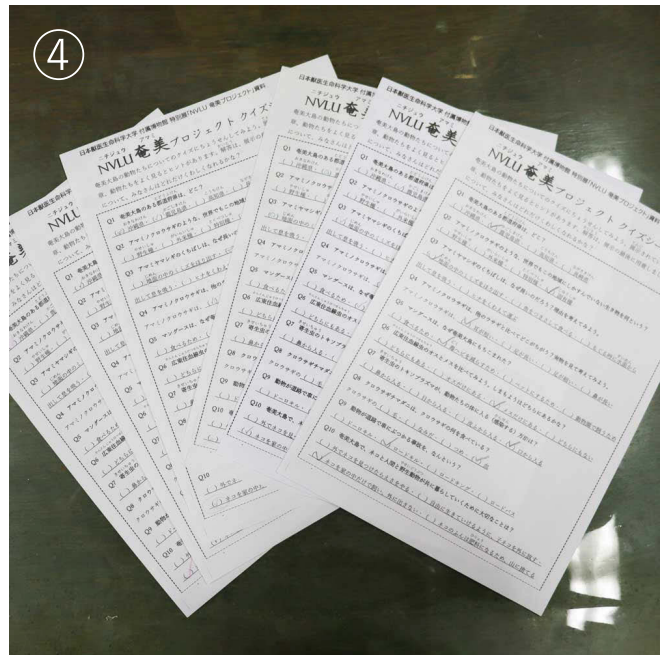
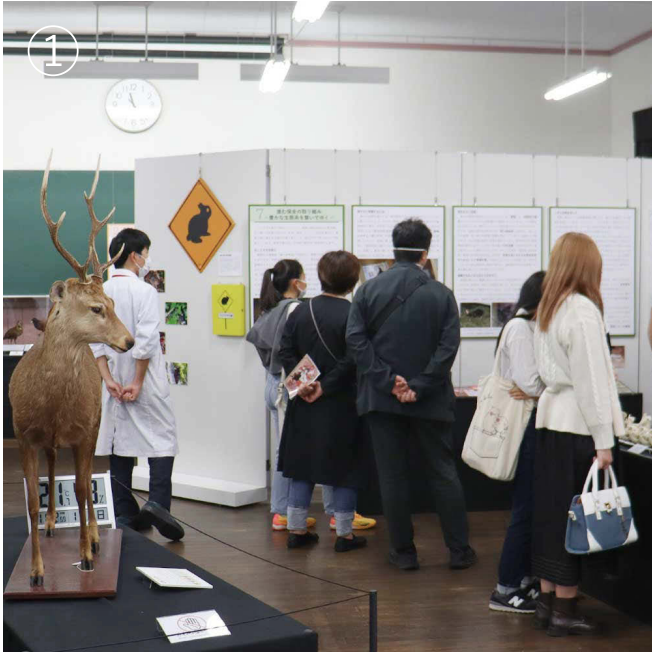
<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html>

特別展の詳細はこちら

■来館案内

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004/access/index.html/>

見学のお申し込みはこちら



- ① 特別展の様子。たくさんの方に来ていただくことができました。
- ② 大学院生による解説の様子。
- ③ 寄生虫を虫めがねで観察できるコーナーが人気でした。
- ④ 特別展ゾーンで配布していたクイズ用紙。皆さん全問正解できたでしょうか？

【活動日誌220】小学2年生の生活科の授業に協力しました

先日、境南小学校に通う2年1組の児童7名が博物館に見学に来てくれました。2年生の皆さんは、生活科の学習の一環として地域のお店や施設を巡り、そこで学んだことを発表しているそうです。この日は学内にある図書館や教室などの他の施設を見学した後で、博物館を見学してもらいました。

9月に境南小学校の別のクラスの児童の皆さんが来館された際は自然系展示室を見てもらいましたが、展示準備のため見学会の当日は自然系展示室を閉鎖していました。そこで今回は、展示室を案内する代わりに本学の宝物の一つとしてキリン「長次郎」の骨格標本を紹介しました。長次郎がかつて井の頭自然文化園で飼育されていたことや、骨格標本を作るために長次郎の遺体を大学の敷地内に埋めて4年後に掘り出したことなど、長次郎にまつわるエピソードを紹介したところ、皆さんとても興味深そうに話を聞いてくださいました。

博物館の見学は当館が受付けておりますが、その他の施設を含めた見学をご希望の場合は窓口が異なります。都合により見学をお受けできない場合もございますが、興味のある方はご相談ください。

(学芸員 石井)

#社会連携 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■お問い合わせ一覧

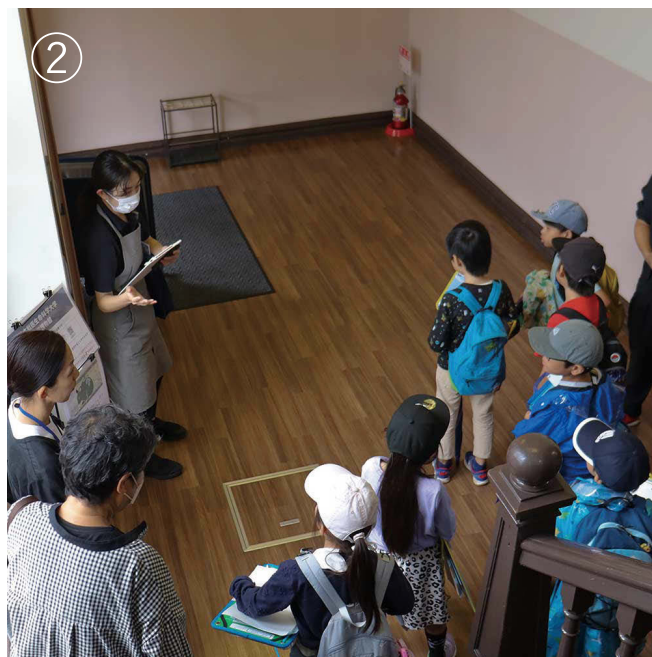
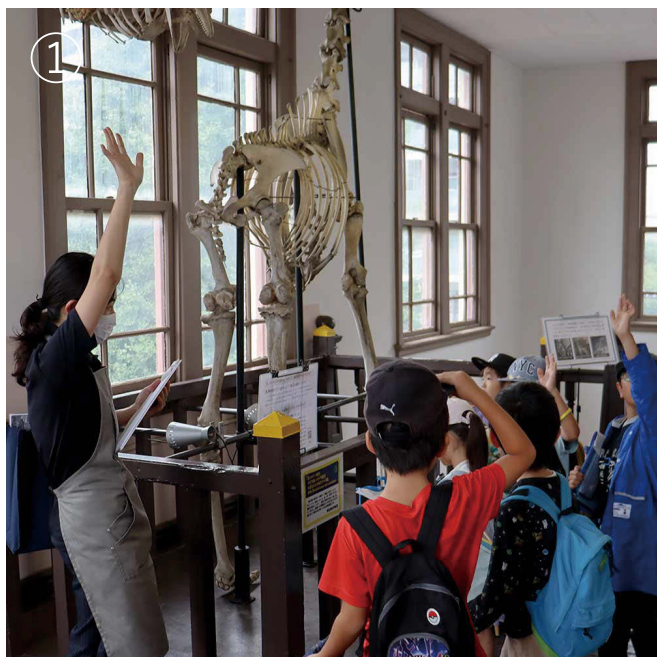
<https://www.nvlu.ac.jp/inquiry/inquiry.html/>

博物館以外の部署の連絡先はこちらをご参照ください

■【活動日誌214】小学生による団体見学を受け入れました

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0qBh4TssQMUYfKgqzXociGvwsMN1dv84ekJDhACsU36zWh4MikMKWtyYVoSMjQBo1l>

9月に受け入れた見学の様子はこちら



- ① 長次郎の骨格標本の前で解説をする様子。
- ② 質問に答える様子。「大学には何人先生がいるの?」「図書館には何冊本があるの?」など、小学校との違いが気になった様子でした。

【活動日誌221】動物形態学実習で博物館を活用していただきました

当館は、学芸員課程の授業や実習だけでなく、本学の授業や実習で活用していただくほか、博物館資料の貸出等を行っています。昨年に引き続き、獣医保健看護学科1年生の動物形態学実習で、博物館を活用したいというお申し出を受け、合計100人の学生に実習で使っていただきました。

実習では、学生たちが班に分かれて、展示剥製から「哺乳類の歩行様式3タイプ(蹠行性・趾行性・蹄行性)の違いがわかるように後ろ脚をスケッチする」という課題、そして11月から展示を開始した特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」の感想レポートの課題に取り組んでいました。

博物館内で全員がスケッチをおこなうにはスペースと消しゴムくずなどの問題があるため、スマホで対象の写真を撮って実習室で仕上げるということで、それぞれが自然系展示室内でとても熱心に対象に選んだ動物の写真を撮ったり、特別展のクイズにチャレンジしてくれたりしていました。

また今年は、1号棟2階に展示されているキリン長次郎の全身骨格標本や、歴史系展示室についてもあわせてみなさんに見学していただきました。

当館では、引き続き本学の学生を対象とした授業や実習での活用も受け入れています。実習や講義での利用をご希望の方はぜひ博物館スタッフにご連絡ください。

(スタッフ 廣瀬)

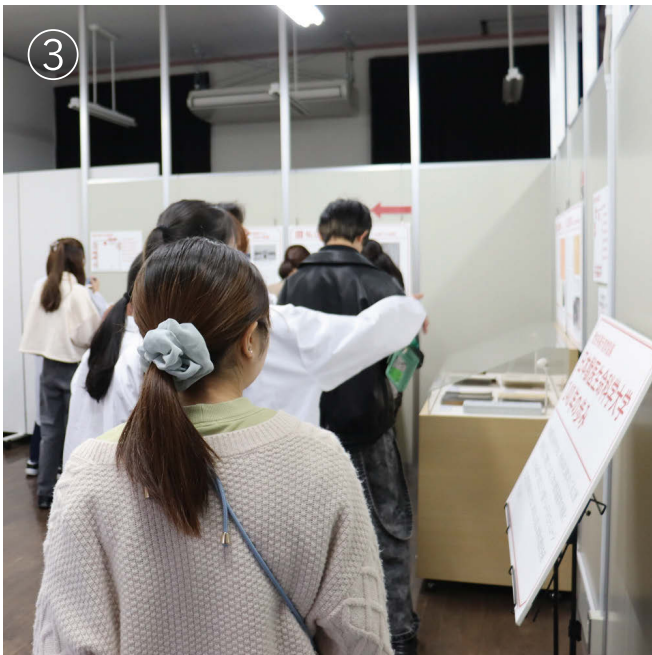
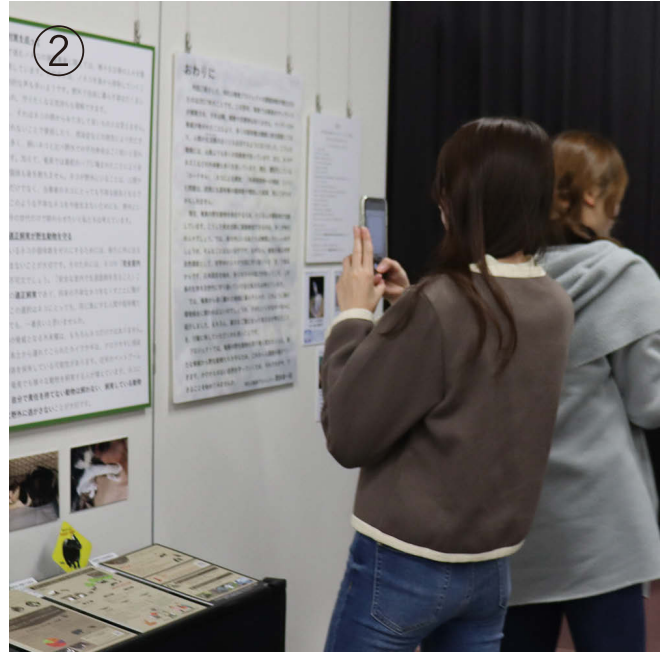
#日本獣医生命科学大学 #博物館 #奄美

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html>

特別展の詳細はこちら

2024年11月14日の記事



- ① 中型哺乳類の展示エリアで剥製の足を撮影している様子。アライグマやタヌキが人気でした。
- ② 特別展エリアの展示を撮影している様子。
- ③ 歴史系展示室の見学の様子。以前の大学の写真を見て驚きの声があがっていました。

【活動日誌222】武蔵境まち歩きツアーの準備を進めています

以前もご紹介しましたが、当館は、武蔵境駅の開業135周年の記念企画である武蔵境の歴史探検ツアーにご協力することとなりました。

イベント当日は武蔵野市観光ボランティアガイドの会の方とJR武蔵境の駅員の方がツアーガイドをされるそうです。11月23日の本番に向けた下見のために、先日はツアーガイドを担当される皆さんが博物館まで来てくださいました。

イベント当日の11月23日は祝日で博物館が休館のため、ツアーの参加者の方には博物館の入っている建物である一号棟についてご紹介する予定で、下見では当日ご案内する予定通りに皆さんをお連れし、解説の内容や時間に問題がないかを確認しました。

ツアーでは時間も限られているため、一号棟の入口で建物の概略を、一号棟内では階段の一番下にある人研ぎの石と古いものと思われる窓ガラスについてそれぞれご案内するだけの予定でしたが、追加で麒麟「長次郎」についても簡単にご紹介することとなりました。

参加者の方に楽しんでいただける内容となるよう、当日までまた準備を進めていきたいと思います。

(スタッフ 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館

■【活動日誌218】武蔵境駅開業135周年を記念したまち歩きツアーに協力します

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid02QeUmwXHvdfAVLax9xLZXFMN6GigLtVy bqCKoNFFjrxUWcW8MaMgEQrGzkrfUDsPKI>

まち歩きツアーについて前回ご紹介した記事



- ① 一号棟の入口で建物の概要についてご説明している様子。
- ② ヴォーリズ館を取り壊した際に採取した、ヴォーリズ館の階段で用いられていた人研ぎの石の破片を使って、人研ぎの石の断面をご紹介している様子。
- ③ 一号棟の窓に残されている古い板ガラスと思われるガラスをご紹介している様子。近づいてよくよく見ると、ガラスに気泡が入っていることが確認できます。

【お知らせ】日獣サイエンスセミナーにあわせた特別開館を実施します

当館は本学獣医学部 獣医保健看護学科 病態病理学研究分野と連携し、奄美大島の動物たちをテーマにした特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」を開催しています。

11月29日に開催される「日獣サイエンスセミナー」にて、本展示の企画を担当した吉村久志准教授が『奄美の野生動物に発生する疾病を調査する』というテーマでご講演されます。

博物館では、この講演にあわせて夜間開館を実施します。夜間開館中は獣医保健看護学科 病態病理学分野の教員と大学院生、獣医学科 獣医寄生虫学研究室の教員による解説を予定しています。

11月29日のセミナーに参加される方のみ、夜間開館の見学が可能です。興味のある方は、「令和6年度後期 日獣サイエンスセミナー」のページをご確認のうえ、セミナーにご参加ください。

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #セミナー

【開館情報】

- ・夜間開館日…2024年11月29日(金)
- ・開館時間…セミナー終了後から1時間程度を予定

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html>

特別展の詳細はこちら

■令和6年度後期 日獣サイエンスセミナー

<https://www.nvlu.ac.jp/open/001.html/>

サイエンスセミナーの詳細はこちら



日本獣医生命科学大学付属博物館

- ① 特別展では奄美大島の固有種を多数展示しています
- ② 展示標本の例：アマミノクロウサギ(剥製)

【特別展2024補足解説】広東住血線虫

日本獣医生命科学大学附属博物館では、現在特別展「NVLU 奄美プロジェクト - 研究・保全・そして未来-」を開催しています。特別展にあわせて、facebookを活用して展示資料の補足情報をご紹介します。

■広東住血線虫：かんとんじゅうけつせんちゅう (Angiostrongylus cantonensis)

広東住血線虫はネズミを終宿主とする寄生虫です。成虫は肺動脈に寄生し(写真1)、肺の毛細血管で産卵された虫卵から孵化した幼虫は、気管・消化管を通してネズミの糞とともに排泄されます。糞に含まれる幼虫を食べた陸貝(カタツムリやナメクジ)が中間宿主となり、その体内で成長した幼虫を、再びネズミが食べることで感染が循環します。

奄美大島には広東住血線虫の終宿主となるクマネズミやドブネズミが外来種として侵入しており、在来種の陸貝や外来種のアフリカマイマイ等との間で感染環が成立していると考えられます。広東住血線虫がクマネズミやドブネズミ以外の哺乳類や鳥類に感染すると、病気を起こすことがあります。奄美大島や沖縄島の固有種であるケナガネズミにおいて、衰弱した個体に本種の感染が確認される症例が多発しており、野外での死因となっている可能性があります。広東住血線虫がケナガネズミに及ぼす影響については、現在研究が進められています。

広東住血線虫のメスは、赤と白の紐がねじりあったような模様をしていて、その姿は理髪店の看板(サインポール)に例えられることがあります。これは、線虫の体内に真っすぐ伸びる赤色の腸の周りに、白色の子宮が絡みついているためです。線虫が活着しているときは赤と白の色がはっきりと見えますが、標本にするとくすんだ色になってしまいます(写真2)。

※寄生：ある生物が、別の生物(宿主)の体内や体表に取り付き、生活を行うこと

※終宿主：寄生虫が有性生殖(配偶子を伴う生殖)を行う宿主

※中間宿主：寄生虫が成長過程や無性生殖(配偶子を伴わないクローン増殖)のために利用する宿主

日本獣医生命科学大学 # 博物館

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html/>

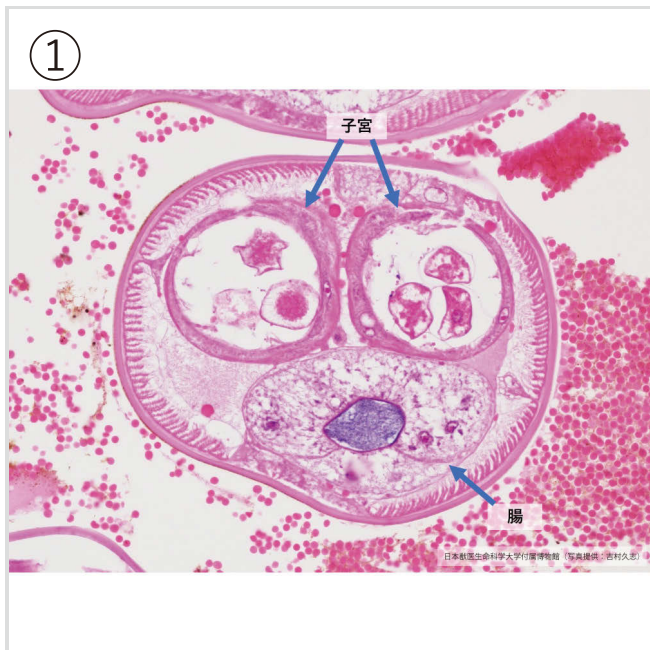
特別展の詳細はこちら

■【お知らせ】日獣サイエンスセミナーにあわせた特別開館を実施します

[https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0hiNVboTixSuiPemJ](https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0hiNVboTixSuiPemJVAYJjtJx1UeJsFH7XwvkH7bMtZnVek7UYoZH4pX9mdWxARU9I)

[VAYJjtJx1UeJsFH7XwvkH7bMtZnVek7UYoZH4pX9mdWxARU9I](https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid0hiNVboTixSuiPemJVAYJjtJx1UeJsFH7XwvkH7bMtZnVek7UYoZH4pX9mdWxARU9I)

11月29日に特別展の企画を担当した吉村久志准教授が『奄美の野生動物に発生する疾病を調査する』というテーマでご講演されます(事前予約不要！詳細は記事をご覧ください)



- ① 写真1 心臓(右心室)に確認された広東住血線虫のメス成虫
- ② 写真2 ドブネズミの肺動脈に寄生する広東住血線虫のオス成虫(上)とメス成虫(下)

【活動日誌223】イベントに合わせて博物館の夜間開館を実施しました

現在当館では、特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして来-」を開催しています。11月29日に開催された「日獣サイエンスセミナー」では、本展示の企画を担当いただいた吉村久志准教授が『奄美の野生動物に発生する疾病を調査する』というテーマで講演をされました。セミナー当日は、博物館は通常より開館時間を延長し、公演終了後に講演に参加された方を対象に博物館をご案内しました。

博物館にはセミナーに参加された方の中から博物館の見学を希望された25名の方が来館されました。来館された方には、獣医保健看護学科 病態病理学分野の教員と大学院生、獣医学科 獣医寄生虫学研究室の教員が特別に解説を行いました。

来館者の方は、奄美大島の動物たちの剥製を熱心に観察したり、セミナーで気になった内容を先生に質問したり、夜間開館を満喫されていたようです。

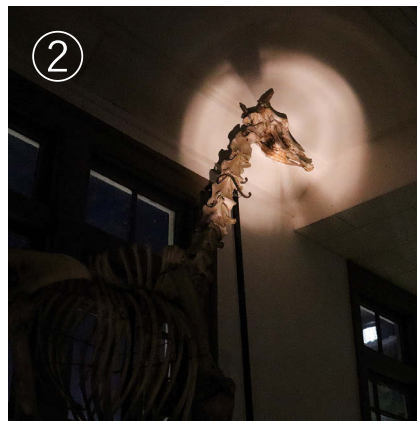
(学芸員 石井)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #特別展

■【お知らせ】特別展「NVLU 奄美プロジェクト -研究・保全・そして未来-」開催

<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/news/20241010-01.html/>

特別展の詳細はこちら



① 特別展を開催している自然系展示室の様子

② 夜間開館ということで、夜の校舎に佇む長次郎の姿を特別にご覧いただきました